

木もれ日 通信

Komorebi Tsushin

第3号

平成12年12月
つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達郡月舘町大字下手渡字寺窪7
TEL024(573)3888 FAX024(573)3887
E-mail: hanakobo@safins.no.jp
休館日/毎月第1、第3次曜日(休館日の前日は17時まで営業)

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続ける皆様の公共施設をめざします。

花のアルバム

アルバムの
3ページ

なす
の花

初霜が降りた朝、凍った大地は、きらきらと輝き、その素晴らしい景色を眺めながら、季節の移り変わりを感じます。大地は春に向けて、休息の時。そんな傍ら、ハウスの中では、「なす」が元気に育っていました。



布川・千葉紀男さんのハウスのなす(ペイナス)

「師走だけのご寒なすび」ということわざがあります。季節ごとの味覚がはつきりとしていた頃、陰暦十二月のたけのこと寒中のナスは、ありえない食べ物ということわざです。

11月半ば、ハウスの中では、千葉さんの背丈よりも高く伸びた苗から、ナスの収穫が行われていました。つややかな、深い紫色のナスを見れば、茄子紺という色名があることがうなずけるような、美しい色です。一方、ナスの花は、主張するような果実の色とは違い、なんともいえない、おだやかな淡い紫色をしていました。

●由緒あるお野菜

ナスはナス科の一年草。インド原産のナスが、中国から日本に渡ったのは、約1300年前。8世紀の正倉院古文书には、栽培から漬物加工のことまでが記録されているという、由緒ある野菜です。

「富士鷹三茄子」、ナスは、成すに通じてめでたい、という意味があるそうです。はたして新年の「初夢」に、ナスは登場するでしょうか！



●種から植える花

バンジー、ノースポールの種を購入。小さな柀に、細かい種を植えるのは、あんがい根気が必要です。花を育てる気持ちに変わりはありませんが、それでも、買ってきた苗から育てると、種から育てるのでは、少々思い入れが違います。種を播き、まだかまだかと芽が出るのを心待ちにし、緑の小さな芽が顔をだした時は、「であー！」と思わず歓声。



昭さん・セツさん・しずちゃんの作業風景

やがて双葉がでて、移植の時期。今回は、花工房のスタッフ、千葉・佐藤ペアが、シルバー人材センターから応援に来てくれた菅野さんの指導のもと、和やかな雰囲気移植作業が進められました。

園芸作業がステキなところは、みんなやさしくなれること…。春には、やさしい気持ちが進められた、愛らしい花たちが、皆さんをお出迎えしてくれるはず。

めぐる時代。

20世紀が過ぎ去り、新しい時代がやってきます。それぞれの時代をふりかえり、忘れかけている大切なことを心に刻みましよう。時間の加速が増し、

ますますデジタル化が進む新世紀に
つぎだて花工房は
素朴な豊かさを探してゆきたいと思います。

安産の湯・花工房

「やっと助産婦さんが見つかったので、赤ちゃんは自宅で産みます！だって昔はみんなそうだったんだから。」と、何の不安も無く話す寿子さん。11月22日、無事女の子を出産。「おめでとー！」実は出産の数時間前、お二人は花工房のお風呂に入ったと聞き驚きました。「星がきれいだから、今日生まれるかもねー」と話をしながら帰路に着きました。安産でしたよ。2時間ぐらい。お風呂に入って陣痛が促進し、気持ち



上／川俣町「かさでさか」・伊波さんご夫妻
下／幼き頃の写真(左)健一さん・(右)寿子さん
*「かさでさか」はご自宅の屋号。
農業体験を受け入れる「ひつじ倶楽部」では、楽しい催しが、いっぱいです。

*昭和38年健一さん誕生。NHK大河ドラマが放送開始。昭和44年寿子さん誕生。アイムストロング船長率いるアポロ11号が月面着陸を遂げた年。そして20世紀最後の年、平成12年、そのお二人に、新しい家族、琴音ちゃんが誕生です。

陽だまりの午後

福祉センター「やまゆり」の主催で、もみじ狩りを兼ねた、つぎだて花工房での休息のひと時が持たれました。その中にご夫婦での参加がありました。千葉恒次郎さん84歳、ヨシ子さん82歳。お二人が、ロビーに入った瞬間、陽だまりのように暖かい空気が流れました。

結婚生活64年。半世紀以上を共にされたお二人は、「言葉無くとも、心伝わる…」という感じです。どうかいつまでも仲良くお元気で…と、心から思うばかり。それにしても、二十歳の恒次郎さん、ハンサムですね！



右／月館町千葉さんご夫妻
恒次郎さん(84歳)
ヨシ子さん(82歳)
左／(昭和11年)当時、
20歳と18歳



*お二人がご結婚された昭和十一年は、2・26事件が起こった年。翌年には、日中戦争がはじまりました

それぞれの時代

懐かしい集いがありました。男子と女子が話す機会もなかった頃の皆さんの、14回目の同級会でした。時代は太平洋戦争の真っ只中、3月に卒業し、翌月の4月には志願兵として多くの男子が出征。国民の始どが国家のために生命を捧げた時代です。学校には、必ず奉安殿に敬礼してから入ったそうです。教育の力の偉大さを感じます。教育が人を作り、人が時代を作る。訪れる、二世紀のために、忘れてはけない二十世紀があるはずですね。



奉安殿：写真の後に写る建物。
教育勅語等が安置されていた。



上／昭和18年3月、尋常高等小学校卒業生の皆さん。
下／(昭和10年)小学校1年生の思い出の一枚。

21世紀に残したい 田舎の原風景があります。



糠田・斎藤治平さん宅
※玄関脇のケースは干した柿をイオウで
いぶすときに使用するもの。

冬の風物詩 干し柿のある風景

軒先が長い屋根の下、物干し竿に柿がぶら下がっている風景は、この季節になると田舎ではあたりまえだと思っていたのに、あらためて探してみると、なかなか出会うことが出来ませんでした。贈答用として大量に出荷されるあんぽ柿の生産方法が、以前とは確実に変化しているためでしょう。おやつであんぽ柿を楽しみ、また親戚や近しい方への贈り物として、ひとつひとつ自分たちの手で皮をむき、柿を干すというこの季節ならではの風習が、少しずつ消えかけていくようで寂しい思いです。そんな中、訪れた斎藤治平さんのお宅には、探していた干し柿の風景があり、なぜか心が「ほ」としました。突然の訪問に、ころよく写真を撮らせていただき、ありがとうございました。

秋の思い出 つぎだて旅日記

旅人の心を繋ぐ町

東京都 大森 弘視様

フト気がつくくと、木犀の甘い香りが散歩の足を引き留める。数こそ少ないが、今日は赤トンボも見かけた。どこかで道に迷っていた秋があわてて歩幅を広げたのだろうか。

月館の秋はもう深まったのだろうか。東京とは異なつて、自然が正しく息をしている町の秋は、今年も美しいことだろう。

田畑の仕事からは解放されたが、小手姫さまのお祭りの準備に追われているのかな？それともキノコ取りや栗拾いにと、秋の味覚を存分に楽しんでいるのかな？などと、想いを巡らしていると、昨年の秋に飛び入りをさせてもらった運動会を思い出した。

した。

会場内のそここや、スタート待ちの間に大勢の皆さんと交わした会話は、なんとも暖かいものだった。他所者を自然に受け入れてくださったことがうれしい。懐の深い山並みと美しい花の数々、それと透明なまでの空気が人の心を広くしているのだろうか。今年はお出かける機会を逸したがいつの日か再び訪れたい町であり、運動会でもある。

そして、花工房の笑顔が心に残る。花工房の皆さんの笑みは本当に温かい。名旅館、名割烹と名の付く店はゴマがない。

町の風物と花工房の暖かさは、いつまでも旅人(旅行者ではない)の心を繋ぎとめるに違いない。

食 あまから情報(冬編)

月館町の産物

- 平種柿……………12月初めから12月中旬
- あんぽ柿……………12月中旬から1月下旬
- りんご(ふじ)……………12月から2月下旬
*贈答用にも是非どうぞ!
- しいたけ・なめこ・ニラ・春菊
*チラチラ雪の降る夜は、鍋を囲んで暖まろう!

花工房より

好評の桑メニュー、ラウンジに登場

- 小手姫定食……………¥850
桑のけんちんうどんと、桑ごはんのセットです。

桑の効能は

※肝臓機能の改善・高血圧の抑制、肥満防止、ガンの予防などがあります。健康メニューを是非お試し下さい。

(営業時間/11:30から13:00までのみ)

お問い合わせはお気軽に
TEL 024 (573) 3888

季刊「木もれ日通信」を手にしてくれた、あなたへ…。

**We Wish You A Merry Christmas!
And Happy New Year.**

駆け出しの通信に、温かい言葉をいただいた1年でした。
心より感謝申し上げます。
来る21世紀が、みなさまにとって、良き時代となりますように…。
そして、2001年もつぎだて花工房でお会いしましょう。

Hana

こもれび インタビュー 2001年の鐘

「はなくらぶ」は皆さまとつきだてて花工房をつなぐページです。お便り・情報など何でもお気軽にお寄せください。次回第4号のはなくらぶのテーマは「旅立ち」です。お便りお待ちしております。

が良かったのに、一瞬雨が降り出したのです。私は「観音様が、みんな、よく来てくれたね」と、うれし涙を流してくれたのだ」と話しました。皆さんの顔には笑みがあり、鐘つきもされていましたよ。

Q 月館町で除夜の鐘を鳴らすのは、五幸山だけですね。

A 大東亜戦争時(昭和二十七年)の鉄不足で、お寺や神社の鐘は没収されてしまったのです。今の鐘は昭和二十七年に新たに奉納されたものです。

Q そんな時代や、歴史があるのですね。さて、記念すべき新世紀への年越しに、除夜の鐘は？

A 正直なところ、まだ決定していません。奉賛会の者だけで、出来るものではありませんから…。若手の協力も大切です。みんなの心がひとつになってこそ、はじめて鐘が鳴るのだと思います。是非、是非、そうしたいですがねえ…。

※詳細問合せは「法常院」佐藤駒次様
電話024(572)2905まで

五幸山の歴史
千二百年以上前
將軍・坂上田
村麻呂が東北
遠征の折、霊場
として五幸山
を開きになら
たと言われる。
また、時を同じ
くして、慈覺太
師が、聖觀世
音立像をお造りになられたという記録が残る。
観音堂にある十二面観音は、子育ての信仰
があり、昭和35年ころまでは、町内外より、
多くの参拝者があった。

Q (五幸山山頂に立ち) わあ、いい眺めですねえ。そうでしょう。御代田地区が一望できます。つきだて夢見の郷も、きれいに見えるでしょう！

Q 本当ですね。造成の半月型がはつきりわかりますね。それにしても、すごい杉林ですが。

A 参拝者が杉苗を背負って来て植えていったんですよ。子供が、杉のようにまっすぐ、丈夫に育つように祈って。ここでは、どんな強い風が吹いても、大丈夫。それだけ、多くの参拝者があったということですよ。

Q 今年のお祭りには「東京月館会」のみなさんが、参拝されましたね。皆さん、小学生の遠足で訪れて以来と言っていました。あの日、天気

お便りコーナー

穏 やかな天候に恵まれ、懐かしい里山の風景や、皆様のおもてなしに、日頃の疲れがほぐれました。帰りの新幹線で食べた「松月の饅頭」は、ふくらみ粉と小豆のおい、手づくりのなつかしい、なつかしい味でした。
(桃澤洋子様・横浜市)

花 「バス停までお送りします」と申しましたら、「いいえ、もう少し里山を楽しみながら帰ります。」というお答え。毎日の景色があたりまえになり、すぐそこにある宝物を見失いかけている自分に気づきました。桃澤さん、ありがとうございます。

緑

に囲まれた高台の閑静なたたずまいが、とても気に入りました。今回はお墓参りで帰省。孫は女の子ですが、アマガエルを見つけてはおはしゃぎ、蝶々を見つけては大喜びです。いい休暇を過ごさせてくださいました。(月館町、古田出身、高橋清様・横浜市)

花 初雪が降り、今年も花工房には「セグロセキレイ」という小鳥がやってきて、私たちの心を和ませてくれます。その愛らしい姿をお孫さんが見られたら、また、おおはしゃぎされるでしょうね。奥様も月館町出身と、伺いました。帰省の際は、つきだて花工房を「一番目の実家」のつもりで、お顔を見せてください。お待ちしております。

「RHYTHM」13年・干支組み木を10名様にプレゼント!

こもれび ニューイヤープレゼント



応募方法

官製はがきに、住所・氏名・年齢と、木もれ日通信の感想をひと言添えて、「つきだて花工房・木もれ日通信・編集係」までお送りください。

応募の締め切り

平成13年2月末日消印有効

当選者の発表

木もれ日通信第4号にて

発送

当選者が決まり次第、郵送にてお送りいたします。

つきだて花工房からのお知らせ

年末年始の営業について

平成12年12月30日
↓お風呂・ランチのみ営業。
13時で終了。

平成12年・大晦日/13年・元旦
↓お風呂のみ営業。
10時から18時まで

平成13年1月2日より、通常通りの営業となります。

二月の休館のお知らせ

平成13年1月9日から12日まで臨時休館となりますので、ご了承ください。なお、16日は第三火曜日につき休館となります。



小枝でひと休み! 心を和ませくれる小鳥(セグロセキレイ)

編集後記

過日、テレビにもよく登場する、渋谷のスクランブル交差点に立ち、私は100m競争のスタート地点にいるような気分を体験。「よい、ドン!」青信号と共に、いつせいに歩き出す人の波を上空から見たら、きつと「蟻の運動会」のようですね。あわたたしい日々の営みと並行して、もうひとつの時間が流れています。鳥が鳴き、花が咲き、青い空に雲が流れる…。来たる21世紀は、そんな瞬間を、少しでも多く感じてほしいと思います。どうぞ、健やかな新年をお迎えください。(佳代)

ムーン
月の明りで疲れた心を癒したい。
セラピー

いますぐカレンダーにチェック!!

[新月の夜]	[満月の夜]
12月26日(火)	12月11日(月)
1月24日(水)	1月10日(水)
2月23日(金)	2月8日(木)